

11月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/11/01 (火)	東京は様子見。結果として日経平均株価は大幅高となったがシステム障害もあり為替にはノイバク。欧米はユーロ買いが目立つ。米利上げは予想通りでドル買い材料にならず、むしろ対ユーロでは事実売り。	・東証がシステム障害で半日取引出来ず ・10月の米ISM製造業指数59.1、9月の建設支出0.5% ・FOMCで25BPの利上げ決定、声明もこれまでの表現を踏襲	・谷垣財務相「円安は大きな意味でファンダメンタルズを反映した動き」	116.45 116.42 116.78 116.67	139.58 139.52 140.36 140.31	寄付 安値 高値 終値
05/11/02 (水)	東京は休日前の仲値不足観測などもありドル小じっかり。また円はユーロでも弱含み。欧米はユーロ高。発表された独失業者数が予想より良好だったことなどがユーロの買戻し要因となった。	・豪州が金利の据え置きを決定 ・10月の独失業者数 3.6万人 ・ルウエーが金利を25BP引き上げ	・安部官房長官「日々の為替動向のコメントは差し控える」	116.78 116.56 116.98 116.89	140.39 140.20 141.15 141.12	寄付 安値 高値 終値
05/11/03 (木)	東京休場もあってかアジアタイムは動きにくく積極的な売見られず。主要通貨は軒並みレンジ相場。欧米は結果ドルの独歩高。ECB総裁発言に対する失望とFRB議長のカ派発言からドル嗜好強まる。	・ECBが金利据え置き決定 ・10月の米ISM非製造業指数60.0、第3四半期非農業部門労働生産性4.1%	・ECB総裁「政策金利は引き続き適切」 ・FRB議長「インフレ見通しは依然不透明」	116.81 116.80 117.40 117.20	140.94 139.85 141.17 140.00	寄付 安値 高値 終値
05/11/04 (金)	東京はドル高というより円安。日経平均高は無視された格好で逆に谷垣発言を材料視。欧米は再びドル独歩高。米雇用統計は失望する内容ながら影響は一時的。無視する格好でドル急騰。	・日経平均株価が1万4千円回復 ・パリ郊外で暴動再発、クルマ150台に対する放火など ・10月の米失業率5.0%、非同業部門雇業者数5.6万人	・安部官房長官「株価が小泉政権発足時を上回ったことは感慨深い」 ・イッソグECB専務理事「米経常赤字は大きな懸念に」 ・谷垣財務相「大きなファンダメンタルズのなかで動いている」	117.24 117.23 118.35 118.33	140.10 139.42 140.85 139.77	寄付 安値 高値 終値
05/11/07 (月)	東京は調整の動きから円が全面高。とくにクロスで強含みとなり139円割れをうかがう局面も。欧米はドル小幅安。ただ新規要因に乏しく全体的には手控えムード。積極的な売買は見送られた。	・バフェットCEO率いるバークシャーがドルショートポジションを50億ドルも縮小	・中国人民銀「為替制度改革は徐々に推進する」 ・ECB総裁「世界経済は引き続き力強い」	118.28 117.46 118.28 117.68	139.63 138.50 139.63 138.92	寄付 安値 高値 終値
05/11/08 (火)	東京はユーロの売り仕掛けもあり欧州通貨主導の展開。結果ユーロ/円が大幅安に。欧米は一転ドル安。この日は欧州要人による発言が相次ぐも決め手に欠けユーロの買い材料にはならず。	・財務省が7-9月の為替介入実績発表、ゼロ円	・谷垣財務相「緩やかながらドルは続いている」 ・メルケルECB理事会メンバー「ECBはいつでも金利変更できる」 ・ガルシアECB政策委員「明確な物価リスク見ればECBは利上げも」	117.64 117.10 117.98 117.28	138.69 137.80 138.70 138.16	寄付 安値 高値 終値
05/11/09 (水)	東京はレンジ内でほぼ揉み合い。ただ個人などの円売り意欲は依然根強いものがある。欧米は一時大きく円高に振れるも行って来い、テロ思惑やスノ発言でドル売りになったが続かず。	・朝日新聞「米大統領は訪中で人民元柔軟化を要請」 ・アマンのホテルで爆破テロ発生 ・ABNアムロのレポート「ドル/円の一段上昇に問題なしと日本の財務省高官が示唆」	・ECB総裁「ECBはいつでも金利を変更することが可能」 ・米財務長官「米国には赤字を削減する責任がある」	117.39 116.86 117.75 117.52	138.14 137.60 138.43 138.26	寄付 安値 高値 終値
05/11/10 (木)	東京はドル底堅い。テロの話が悪材料ながら機械受注の大幅悪化などもあり対円中心にドルはしっかり。欧米は再びドル高。米貿易赤字はドル売り材料だが材料視されず、むしろ金利差などからドル嗜好強い。	・9月機械受注は 10.0% ・バグダッドで自爆テロ25人が死亡 ・ECBが月報発表 ・9月の米貿易赤字 661億ドルで過去最悪また対中赤字も過去最大に、11月のシガン大景況指数79.9	・SL連銀総裁「米経済は力強い」 ・渡辺財務官「117円台は円安という認識なし」 ・米著名情報社「FRBは3月までにFF金利を4.75%へ引き上げ」のレポート送信の噂	117.77 117.37 118.27 118.21	138.66 138.07 138.76 138.13	寄付 安値 高値 終値
05/11/11 (金)	東京は良好なGDPもあり円買いでスタートするも続かず。大引けにかけて下げ幅の半値ほど値を戻した。欧米はNY休場もあり全体的には手控えムード。ただオーストリア中銀総裁発言もありユーロが底堅い。	・第3四半期GDP0.4% ・独で大連立政権交渉が合意 ・NY市場が休場	・福井日銀総裁「CPIが安定的にゼロになるまで量的緩和を続ける」 ・オーストリア中銀総裁「ユーロ圏のインフレリスクは著しく高まった」	118.00 117.65 118.20 117.98	137.74 137.50 138.45 138.40	寄付 安値 高値 終値
05/11/14 (月)	東京タイムにユーロが小幅伸縮。とくに新規の材料はなかったがクロス円での動意が目立つ。欧米は再びドル独歩高。小泉発言から円が買い難いなかFRB議長の発言からドルは対ユーロでも急騰。	・9月の経常黒字は1兆6243億円、同貿易黒字は1兆1117億円 ・豪州のブリスベンでテロ警戒から交通機関がシャットダウン	・小泉首相「量的緩和解除は時期尚早」 ・FRB議長「ドル高、経常赤字補填の外国資金流入に問題ないことを示す」	117.93 117.85 118.92 118.82	138.36 138.33 139.40 138.84	寄付 安値 高値 終値
05/11/15 (火)	東京は揉み合い。日本の量的緩和の行方を見極めたいの向きは少なくとも売買は手控えムード。欧米はユーロが小幅高。バーナンキ発言などには新味なく終盤に掛けて調整的な動きが先行した。	・11月の独ZEW期待指数38.7 ・11月のNY連銀製造業景気指数22.8、11月の米PPIは0.7%、同小売売上高 0.1%	・小泉首相「国債発行を出来るだけ30兆円に近づけるよう努力」 ・安部官房長官「まだドル克服には至っていない」 ・次期FRB議長「グリーンズパン議長の政策継続を最優先」	118.82 118.71 119.43 118.90	138.90 138.86 139.38 139.33	寄付 安値 高値 終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで